

牛塚古墳(川越市)

正面の高まりが牛塚古墳/前方後円墳



右手の前方部のアップ



左手の後円部のアップ



それでは後円部から墳丘に登ってみる



後円部から前方部を見る



後円部に立つ説明板



(現地解説板より)牛塚古墳は、入間川左岸標高25mの台地上に築造されている。この古墳は的場古墳群の主墳であり、高さは3.75m、長さは42mを計り川越地方では最大の前方後円墳である。昭和40年に、2度にわたり発掘調査されているが、主体部は横穴式石室で、築造当初の床面とそれを覆った第二次の床面のある重葬形式のものであった。出土した遺物としては、馬具・鉄製品等で、特に第二次の床面から出土した金銅製の指輪は、大変貴重なものである。古墳の形態・出土遺物から7世紀初頭の古墳と考えられる。

昭和59年3月 川越市教育委員会



川越線が通る/右手が川越方面



前方部に立つ標柱/「川越市指定史跡 牛塚」とある



前方部から後円部を見る



墳丘下で前方部から後円部を見る



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kawagoe/usiduka.htm>

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/f8209644ca179e04646624bdc3d4d9e6>

<http://blogs.yahoo.co.jp/nagurikann05/53908102.html>

<http://blog.goo.ne.jp/kwg1840go/e/125c94cf3d653e59444e9c79f5dd21ea>

